

# 愛知県気候変動適応センター 事例紹介

愛知県環境調査センター  
福永 泰生

# ①県の特徴

## 「あいち地球温暖化防止戦略2030」の策定



- 「パリ協定」採択などの社会情勢等の変化を踏まえ、2018年2月に策定
- 2030年度までの削減目標や施策の方向性等について整理
- 産業・業務部門及び家庭部門を中心に、これまで以上の削減対策を講じる
- 排出削減対策（緩和策）により地球温暖化の進行抑制に最大限取り組んだ上で、それでも避けられない影響に対しては適応策で対処



## 愛知県地球温暖化対策推進条例の制定



地球温暖化対策に関する県、事業者、県民の責務を明確にし、全ての主体の自主的かつ積極的な取組を促す新たな条例を制定。

### 施行日

平成30年10月19日

ただし、地球温暖化対策計画書制度の拡充に係る部分は平成31年4月1日

### 主な内容

- 各主体（県、事業者、県民）の責務
- 知事が定める計画
  - ・ 地球温暖化対策の推進に関する計画
  - ・ 気候変動への適応に関する計画
- 取組に関する事項
  - ・ 事業活動における地球温暖化対策
  - ・ 日常生活における地球温暖化対策
  - ・ その他の地球温暖化対策（適応策の推進等）

## ②適応センター設置の経緯

- 平成30年10月：愛知県地球温暖化対策推進条例 制定  
⇒ 気候変動への適応に資する取組の推進等について規定  
(平成30年12月：気候変動適応法 施行)
- 平成31年 2 月：「あいち地球温暖化防止戦略2030」を  
地域気候変動適応計画として位置づけ
- 平成31年 3 月：本県の環境系試験研究機関である「環境調査  
センター」内に**地域気候変動適応センター**を設置

### ③これまでの取組み、今後の取組み

- 気候変動適応に関する情報収集、整理、提供
  - ⇒ 愛知県気候変動適応センターWebページの構築（随時更新）
  - ⇒ 「愛知県気候変動適応センターだより」の発行（毎月）
- 国民参加による気候変動情報収集・分析事業
  - ⇒ 国民参加による気候変動情報収集・分析事業を受託し、本事業で得た情報や分析結果をフィードバック、共有することで、県民の皆様に気候変動の影響をあらためて実感してもらい、本県の気候変動影響、ひいては適応策への理解を促進

## ④国民参加による気候変動情報収集・分析事業の取組み内容の説明

### ○ 多様な主体との連携による情報収集

⇒ 多様な主体（農業協同組合、漁業協同組合等）と連携し、主に生産・供給側の視点からの気候変動影響に関する情報を収集。

### ○ 一般県民からの情報収集

⇒ 気候変動適応に関するワークショップの開催（11/13）。

⇒ 県適応センターのウェブページ等による、全県民を対象とした情報収集を実施。

### ○ 収集した情報の分析、妥当性の確認

⇒ 論文・文献調査、専門家ヒアリングなどによる、科学的な裏付けを確認。

### ○ 公表・普及啓発の実施

⇒ 効果的な普及啓発の方法を検討。

⇒ 県適応センターのウェブページや啓発物等による周知。